

平成 19 年度  
大 学 情 報 化  
職 員 基 礎 講 習 会  
開 催 要 項

日 程：平成 19 年 7 月 4 日(水)～6 日(金)  
会 場：浜名湖ロイヤルホテル(静岡県浜松市)

社団法人私立大学情報教育協会  
研 修 運 営 委 員 会

<http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2007/>

平成 19 年度 私情協研修等事業	
7 月	大学情報化職員基礎講習会
8 月	大学情報セキュリティ研究講習会
8 月	FD 情報技術講習会
10 月・11 月	大学情報化職員研修会
11 月	事務部門管理者会議

## 開催趣旨

人材育成を最大の使命とする大学教育について、社会から質の保証が問われている。それに応えるためには、教育改善に向けて理事会、教員組織、職員組織が一体となって取り組むことが要請される。このような中で職員の役割は、教育改革を効果的に進めるためのコーディネート、マネジメントを通して教育支援、人材育成支援を実現することにある。

そこで、本講習会では、講義およびディスカッションを通じて、大学職員に求められる役割や責任を理解するとともに、魅力ある大学づくりのために各参加者の意識改革を促すこととする。

### 1. 講習の進め方

大学が抱える様々な課題について、研修運営委員会が選出したそれぞれの分野で経験豊富な私立大学職員(管理職相当)が、テーマごとに講義を行います。

研修後半にはグループディスカッションの時間を設け、講義の内容と自己の業務を関連付けて考えることにより、本講習会の趣旨をより明確に理解していただくこととしております。

また、講習の理解促進を図るため、講演、事例紹介、用語解説、私情協の活動紹介などを随所に盛り込む予定です。

※ 本講習会は、単なる情報リテラシーの習得、IT 活用による業務の効率化、事務システムの構築、運用のノウハウの習得を目指すものではありません。また PC 等による実習は行いません。

### 2. 受講対象者：

加盟大学・短期大学の職員で、情報技術を活用した業務の情報化と教育支援に関する基礎知識の修得を希望する方。

### 3. 日程：平成 19 年 7 月 4 日(水) 午後 1 時開始～6 日(金) 午前 11 時 30 分解散

※ 詳細スケジュールは 4 ページの時間割をご覧ください。

### 4. 会場：浜名湖ロイヤルホテル

(〒431-0101 静岡県浜松市雄踏町山崎 4396-1 Tel. 053-592-2222)

※ 本年度は合宿研修となります。参加者は全員上記ホテルへ宿泊いただきます。

※ 原則としてツインルームとします。部屋の割り当ては当方で行います。

※ 最寄り駅 JR 東海道本線「舞阪」駅（東海道新幹線「浜松」駅より 5 分）より送迎バスを用意しております。

### 5. 募集定員：250 人

### 6. 参加費：1 名につき 32,000 円

参加費の支払い方法は、「8. 参加費の支払い」をご覧ください。その他に、宿泊費（2泊5食付）として 27,500 円を 1 日目受付時に直接ホテルへお支払いください。

## 7. 申込方法：

6月18日(月)までに、各大学で参加希望をおとりまとめの上、本講習会 Web サイトからお申しいただくか、本開催要項に添付の「参加申込書」にご記入いただき下記宛にFAX願います。参加申込者についての必要事項は必ず全員分記入してください。締切日を過ぎても定員に余裕があれば受け付けますので、お問い合わせ下さい。

Web : <http://www.juce.jp/kenshu/kisoko2007/>

FAX: 03-3261-5473 (お問い合わせ Tel: 03-3261-2798)

## 8. 参加費の支払い：

参加費は、大学ごとに一括して7月4日(火)までに銀行振り込みによりお支払いください。キャンセルの場合は7月3日(月)までにご連絡いただければ振り込み手数料を差し引いた参加費を返金します。それ以降のキャンセルは、資料代等の実費を請求します。また、当日のキャンセルは、ホテルのキャンセル料が100%発生しますのでご了承願います。

### <振込先>

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通預金口座

口座番号： 0054409

名義人： (社)私情協

シャ)シジヨウキョウ

---

## 講義概要

### 講義①「期待される職員像 ～教育の支援者としての働き～」

講師： 杉町 宏氏 (立命館大学情報理工学部事務室事務長)

本講義では、大学の教育活動を支援する立場から、大学が抱える教育問題、人材育成の現状について共通認識を持つとともに、それらの課題解決に向けて職員に求められる基本的な能力・姿勢について解説する。

とりわけ基本的な能力の一つとして、教員との協働化、経営管理組織への提案、職員組織間での調整・マネジメントを取り上げる。

(キーワード)

- ・ 大学を取り巻く情勢と社会が求める人材育成
- ・ 大学の社会的責任
- ・ 教育改革の必要性
- ・ 教職協働のあり方
- ・ 求められる資質・職員像とスタッフディベロップメント

## 講義②「大学運営と情報化戦略」

講師：梶田 晶子氏（東海大学総合情報センターシステム開発課課長）

大学運営の活性化のために、IT を活用した新たな環境づくりが求められている。情報の共有は単に業務の効率化や学生・教職員一人ひとりへの支援やサービスに留まらず、経営戦略や組織改革といった大学の意思決定にまで活用されつつある。

本講義では、大学改革を進めるための基盤としての情報戦略について解説を行う。  
(キーワード)

- ・ 情報基盤と環境の整備
- ・ 大学運営にかかわる情報利用

## 講義③「情報技術の活用による教育支援・人材育成支援」

講師： 齊藤 和郎氏（札幌学院大学情報処理課長）

事例紹介： 斎藤真左樹氏（日本福祉大学教育開発担当部長）

事例紹介： 高橋 公生氏（名古屋学院大学学術情報センター課長）

本講義では、教育改善を実現するための有効な手段として、情報技術の活用を取り上げる。多様な学力・モチベーション・価値観を持つ学生を、大学が質保証して社会に送り出すには、従来の授業形態や学生指導の方法では限界がある。教員に対する教育支援や学生の学習指導の支援、キャリアアップ支援について、実際の大学で行われている先進的な取り組みを紹介するとともに今後の課題や対策を考えていく。

(キーワード)

- ・ IT を活用した教育支援
- ・ 学習支援環境、学生指導のツールとしての IT
- ・ FD 支援、教育支援組織のあり方
- ・ 大学事例紹介（キャリア形成支援、学生ポータル、FD 支援）

## 講義④「情報技術導入による大学の新たな可能性」

講師： 山崎 達朗氏（芝浦工業大学学術情報センター事務部長）

本講義では、情報技術による教育・学習支援の事例や学生サービスの最新動向について事例をもとに紹介し、可能性と限界を見極めるとともに、教育・学生情報の漏洩対策等、情報のセキュリティについても解説する。また、大学職員として最低限身につけるべき情報技術力（IT スキル）の基礎を紹介する。

(キーワード)

- ・ 技術導入に伴う心構え
- ・ 職員に求められる IT スキル
- ・ e-ラーニング
- ・ 情報セキュリティ

進行予定

※都合により変更することがあります。

1日目(7/4)

12:00	受付
13:00	開会式 ・運営委員長挨拶 ・授業改善とITの活用 (私情協事務局)
14:30	休憩
14:50	講義(1) 60分
15:50	休憩
16:10	講義(2) 60分
17:10	休憩 チェックイン
18:30	懇親会

2日目(7/5)

9:00	講義(3) 100分
10:40	休憩
11:00	講義(4) 60分
12:00	昼食
13:00	討議
	休憩適宜
	引き続き討議
	休憩適宜
	引き続き討議
17:00	休憩
18:00	夕食

3日目(7/6)

9:00	討議 まとめ アンケート記入
11:30	順次解散